

小田高WEBの存在（楽園広場）

最近、僕は失敗が目立つようになった。

ちよつと前の当WEBの投稿に、短歌にも関わらず「名句：2句：」などとコメントしたり、個人のメールやり取りで、誤字はちよくちよく、送付後の浮ついた調子の文面に気付いて、後の祭りに恥じ入ったり、記憶違いを繰り返したり、僕は体力のみならず、知力も大きく劣ってきたことを、実感するようになった。

ずつと続けて当WEBを支えてきてくれている先達の存在を知りながら、いや知るからこそ恥ずかしい文面は書けない、高度な問題には付いて行けない。

もういい加減、投稿は辞めよう！などと何度か思ったことがある。

問題は、気力なんです。投稿の先達に気付かされました。健康のための努力も知力の維持も、根底に気持ちの持ち方が大事ということ。

結局居直って、もっと気楽に脳天気にも、自分らしくありたいという気分に着いた。

全くの脳天気の余談ながら、

僕は今、就寝前に、なぜか或る歌を毎晩聴くようになった。

呆れるかも知れないが、舟木一夫の「学園広場」である。

お世話になった小田高に申し訳ないが、およそ「学園」からは程遠い学生生活を過ごした記憶しかない。

ところが今は、そうでない。笑ってやってください。

僕の勝手な夢想が、小田高WEBを刷り込んで「楽園広場」のようになっているのだ。

このように、今後は脳天気に投稿していきたいと思った。

